

検診台 DG-FL750

【警告】

- ① 機器の動作範囲内に人及び物、又は手や指が無い**か必ず確認すること**。[挟み込みによる怪我の防止]
- ② 診療、処置を行う前に必ず患者の問診を行い、股関節に疾患がない**かの確認を行うこと**。[支脚器が自動的に開脚を行いますので、患者に危害を及ぼす可能性があります。]

* 【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製以外の装置や付属品については、取扱説明書や添付文書等で安全性・有効性を確認できない場合は、本製品に取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

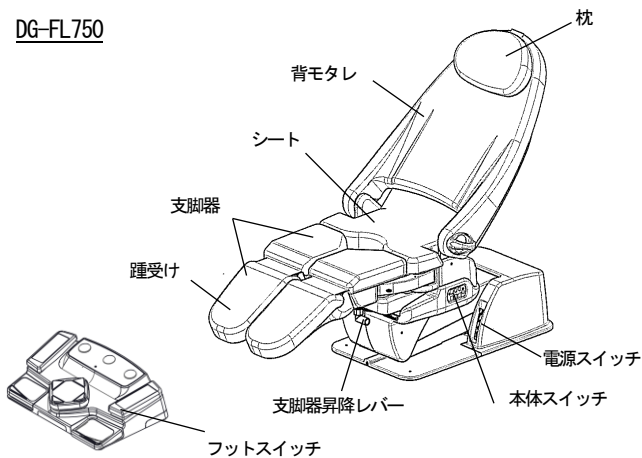
【形状・構造及び原理等】

1) 作動原理

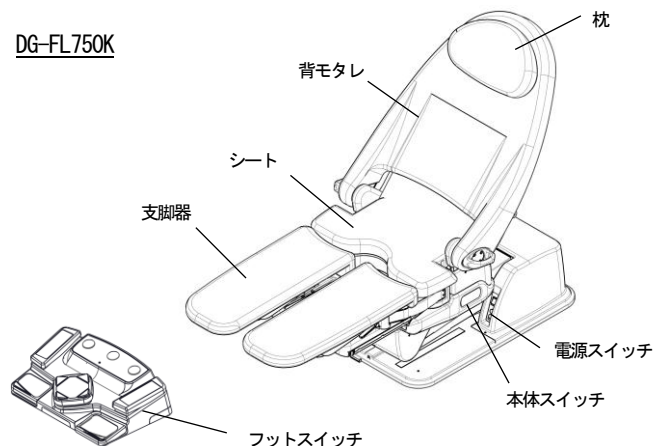
本機は、スイッチ操作で油圧機構が働き、関連部品を動作させることにより、制御範囲内で作動部位を動作させることができる。

2) 外観図

DG-FL750



DG-FL750K



3) 機器の分類

JIS T 0601-1 による分類は以下の通りである。

- ① 電撃に対する保護の形式による分類 : クラス I 機器

- ② 電撃に対する保護の程度による装着部の分類 : B形装着部 (張り部 グリップ)

4) 電気的定格

- ① 定格電源電圧 : AC 100 V
- ② 電源電圧範囲 : 定格 $\pm$ 10 %
- ③ 周波数 : 50 / 60 Hz
- ④ 電源入力 : 5.0 A
- ⑤ 作動モード : 非連続作動 最大3分 Duty サイクル 1 : 20

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)

周囲温度 : 10 ~ 40 °C

相対湿度 : 30 ~ 75 %

気 圧 : 700 ~ 1060 hPa

【使用目的又は効果】

本製品は、診療室などで使用し、患者の診断及び処置に使用することを目的とした汎用診断・処置用テーブルです。

* 【使用方法等】

〈設置方法〉

機器の詳細な設置方法は付属の設置説明書に従うこと。

〈使用方法〉

機器の詳細な使用方法是付属の取扱説明書を使用前に必ず読むこと。

* 【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ① 他の医用電気機器(電気メス等)と併用する場合、電磁的影響による不正確な作動が発生することがないか使用前に確認すること。
- ② 患者の体位を保持する場合は、常に患者の状態を監視すること。
[長時間体位を固定すると患者に障害がおこるおそれがあります。]
- ③ 体重が 135 kg 以上の人は乗せないこと。[荷重条件により本体が作動しない場合があります。]
- ④ 本製品を取扱説明書で指定していない製品または他社製品と組み合わせて使用する場合は、当社に取付けの可否を確認すること。[安全性が保証できないため]
- ⑤ 内診室にお連れのお子さまが入るときは本製品の作動範囲にいないことを確認してから操作してください。[本製品の作動時に挟まれて、けがをする恐れがあります。]
- ⑥ 内診ポジションへの移行のプリセット操作は、開脚前の一旦停止時に必ず患者の足を踵受けの上に乗せてベルトで固定してから行ってください。患者の足が踵受けのベルトで固定されていない状態でプリセット操作を行うとけがをするおそれがあります。

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

- ⑦オートリターン操作が完全に終わるまで、患者が本製品より降りないように十分注意すること。[本製品の作動中に乗降を行うと、転倒してけがをするおそれがあります]
- ⑧支脚器の開閉操作、及びオートリターン操作、プリセット操作を行う際は、患者の手の位置がグリップ、またはお腹の上にあることを確認して操作を行うこと。[指を挟んでけがをするおそれがあります。]
- ⑨患者の乗降は、非常の際以外は必ず乗降ポジションで行うこと。[患者の落下や、本製品の転倒及び損傷のおそれがあります。] 非常時等において医療従事者の判断で乗降ポジション以外で患者を下ろす際には、患者の落下や、本製品の転倒及び損傷に十分注意すること。[特に背モタレの先端に手をつくなどして荷重がかかった場合、本製品が後方に傾いて患者がバランスを失い、転落するなどしてけがをするおそれがあります。]
- ⑩麻酔をかけているときは、シートヒーターを使用しないこと。また、長時間（20分以上）の使用は避けること。[低温やけどをおこすおそれがあります。]
- ⑪背モタレの端、および支脚器の端に腰掛けたり、過度の荷重をかけたりしないこと。[故障や転倒の原因となります]
- ⑫お手入れは取扱説明書に従って実施すること。

*【保管方法及び有効期間等】

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は10年です。
- （自己認証（当社データ）による）

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限り。

- ・クッション部品、及びスイッチ類は使用環境によって異なります。

**【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ずお読みください。

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

点検頻度	点検内容
使用前	設置状況の確認
	外観状況の確認
	オイル漏れの確認
	作動状況の確認
	作動中に異音、振動、異臭等していないことの確認

*〈業者による保守点検事項〉

業者による保守点検を実施するときは、当社または当社の指定する業者、若しくは修理業者などの適切な有資格者に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
タカラメディカル株式会社
TEL：06-6499-3461